本紙の見解　ライヒスアドラーを狙う

坂上からは完全に流して、中山の千八で上がり３Ｆ33秒１という出色の数字を記録したライヒスアドラー。大きなストライド、エンジンのかかりがやや遅い点から、東京変わりはプラスになる公算大。レースぶりに注目。〔郡〕

WIN5 ⑤　東京 11R

馬単
4⇄5
4⇄6
4⇄9
5⇄6
4⇄12
4⇄10
4⇄8

3連単 フォーメーション	
1着	4
2着	5 6 8 9 10 12
3着	5 6 8 9 10 12

（30点）

▼**1前走＝重賞出走**〔3００10〕
▼サウジアラビアRCから③着**ゾロアストロ**と⑤着**チュウワカーネギー**が参戦。レース内容は評価できなかったが、前者はスムーズさを欠き仕掛けも遅れる形。後者は18キロの体重増。見限るのは早い。
▼**リネンタイリン**は京王杯2歳Ｓ⑦着。自身の脚は使えたが展開がハマらないと…。
▼**2＝OP・L競走**〔２２４11〕
▼**ストームサンダー**の萩Ｓ③着は上位２頭に完敗。さらに相手強化でどこまで。
▼**3＝新馬勝ち**〔５５５26〕
▼**ダノンヒストリー**は半兄・姉にダノンベルーガとボンドガール。東京千八の新馬戦で勝ち時計１分46秒台は優秀。今回は良化途上を思わせる調教内容をどう見るかが鍵。
▼**ライヒスアドラー**は序盤３Ｆ40秒０の超スローとはいえ、最後２Ｆが連続10秒台。最後は幼さは目についた。〔上位可〕
▼**テルヒコウ**は超スローの逃げ切りで勝ち時計は平凡でもセンスは光った。
▼**4＝未勝利勝ち**〔０３１18〕
▼着差以上に楽な勝ちっぷりだったのは**パントルナイーフ・ローベルクランツ・コッツォリーノ**。いずれも負けた新馬戦の内容も悪くなく、素質的にも見劣りなし。

データ

3連複
4 5 6
4 5 9
4 5 12
4 5 10
4 6 9
4 6 12
4 6 10
4 9 12
4 9 10

	2歳戦向き	距離の適性	将来性	攻め馬状態
	12	4	9	8
	9	10	4	4
	8	9	12	12
	6	8	7	7
	4	6	8	10

レース展開

【前走逃げ切りが５頭いるが、先々を考えて今回逃げたくない馬は多そう。隊列が決まれば折り合い重視でスローから平均】

内 ①⑥⑨⑫ ②⑦⑧⑪ ④⑩ ⑤③ 外
逃げ　好位　中団　後方
スローペース

第30回 東京スポーツ杯２歳ステークス（GⅢ）

（２歳・オープン・国際（指定）・馬齢）　芝1800　東京　芝1.44.5　コントレイル　55ムーア　19年11月16日

枠	馬番	馬名	騎手	負担重量	単勝	人気	前走
白	1	ラストスマイル 牡2	杉原	56	1.1	1	1札① 7.26 未勝利 混 芝1102 454Ⓜ1.3 55丹内
黒	2	テルヒコウ 牡2	坂井瑠	56	1.0	1	2福④ 7.6 新馬 芝1116 456Ⓜ0.3 55柴田大
赤	3	リネンタイリン 牡2	内田博	56	1.0	1	2新⑤ 8.9 ダリ別 芝1222 464Ⓢ0.7 55柴田大
青	4	ライヒスアドラー 牡2	佐々木大	56	1.0	1	
黄	5	ローベルクランツ 牡2	松山	56	1.0	1	3阪❹ 6.15 新馬 混 芝1494 468Ⓢ0.1 55松山
黄	6	サレジオ 牡2	田中博	56	1.0	1	3阪❹ 6.15 新馬 混 芝1493 486Ⓢ0.1 55ルメール
橙	7	ダノンヒストリー 牡2	内田博	56	1.0	1	3阪① 6.7 新馬 混 芝1362 516Ⓢ0.1 55北村友
緑	8	ゾロアストロ 牡2	内田博	56	1.0	1	2新② 7.27 未勝利 混 芝1474 466Ⓢ0.4 55ルメール
緑	9	チュウワカーネギー 牡2	北村友	56	1.0	1	3阪① 6.7 新馬 混 芝1341 470Ⓢ0.3 56ルメール
桃	10	パントルナイーフ 牡2	ルメール	56	1.1	1	4中⑦ 9.21 未勝利 混 芝1494 506Ⓢ0.2 55ルメール
桃	11	ストームサンダー 牡2	戸崎	56	0.0	1	3京⑨ 10.26 萩L 混 芝1474 456Ⓢ0.3 56岩田望
桃	12	コッツォリーノ 牡2	横山典	56	0.0	1	4中⑦ 9.28 未勝利 混 芝2007 450Ⓢ0.4 55横山典

枠	馬番	馬名	騎手	負担重量	単勝	人気	前走
白	1	ラストスマイル	杉原	56	1.1	1	4中⑦ 9.21 未勝利 混 芝2496 500Ⓢ0.2 55杉原
黒	2	テルヒコウ	坂井瑠	56	1.0	1	3京⑨ 10.26 新馬 混 芝1505 486Ⓢ0.4 56坂井瑠
赤	3	リネンタイリン	内田博	56	1.0	1	4東⑤ 10.13 プラ馬 芝1424 466Ⓢ3.6 56柴田大
青	4	ライヒスアドラー	佐々木大	56	1.0	1	4東① 11.8 京王G 芝1218 464Ⓢ0.9 56柴田大
黄	5	ローベルクランツ	松山	56	1.0	1	4中④ 9.14 新馬 芝1515 510Ⓢ0.6 55佐々木大
黄	6	サレジオ	田中博	56	1.0	1	4東③ 10.11 未勝利 混 芝1486 506Ⓢ0.1 56杉原

これで勝負

4-9
4-6
6-9
4-5
4-10
4-8
4-12

BSイレブン解説者　小木曽大祐

５００キロを超える大型馬ですが、足が長く背が高いスラッとした体型の**ライヒスアドラー**。足の長い馬は跳びが大きく持続力に優れますが、直線アッと言う間に後続を置き去りにした初戦のラスト２Ｆは10秒８－10秒９。加速＆持続力を兼ね備えた逸材です。

これで勝負

5-6
5-8
6-8
5-9
4-5
1-5
5-10

日刊競馬解説者　柏木集保

新馬戦を今回も対戦するサレジオの０秒１差の②着。２戦目に離れた最後方から差し切った**ローベルクランツ**は２戦連続して上がり最速。前半は置かれたが、もうレースに慣れたはずだ。調教の動きも良化している今回、置かれなければ直線の鋭さは互角以上だ。

これで決まり！　大川浩史

東京スポーツ杯２歳Ｓ
▼**ライヒスアドラー**が勝った新馬戦のラスト４００ｍは10秒８－10秒９で計21秒７。中山Ｂコースの残り４００→２００ｍ区間のラップは怪しいという説もあるが、中山芝千八で後半４００ｍが22秒を切ったのはこのレースを含めて３回だけ。２０２４年スプリングＳ（ラスト10秒９－10秒８）を勝ったシックスペンスはその後ＧⅡ２勝。２０２４年の白井特別（ラスト10秒９－11秒０）を勝ったグラニットは昇級後③②着。このようなラップで勝った馬はその後も好走する。
▼しかもライヒスアドラーは、直線でしばらく右手前のまま。激しく内にもたれており、騎手は内ラチに突っ込まないように操縦しているだけでロクに追えていなかった。それでこのラップだから能力は高いだろうし、初の左回りもむしろプラス材料という可能性がある。**単勝④と３連複④→⑤⑥⑧⑨**（６点）

スタッフ予想

脚質	⑧	⑪	⑦	⑨	⑥	⑦	⑤	④	④	③	③	②	①
	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	1
	コッツ	ストー	パント	ダノン	ゾロア	チュウ	サレジ	ローベ	ライヒ	リネン	テルヒ	ラスト	ラスト
脚質	⬆		⬆	⬆	⬆	⬆	⬆		⬆	⬆	⬆	⬆	
能力指数	48	56	48	48	58	50	48	48	48	45	47	47	47
藤沢谷	…	…	△	◎	▲	△	○	△	○	…	…	…	…
山永	…	…	○	◎	△	△	▲	△	▲	…	…	…	…
口瞬	△	△	△	▲	△	△	△	△	△	◎	…	…	…
樋編	△	△	△	△	…	△	◉	○	◎	…	…	…	…
小編	…	…	△	○	▲	△	△	○	△	…	…	…	…
山編	…	…	△	◎	▲	△	△	△	▲	…	◎	△	△
大編	…	…	…	◎	▲	△	△	△	○	◎	…	…	…
柏編	…	…	△	△	▲	…	○	◎	△	△	…	…	△
全成績	10	11	11	10	11	10	10	11	10	10	10	11	11
	10	12	10	00	10	01	00	00	00	04	00	00	01
連対数	10	10	10	01	01	01	10	02	01	01	10	00	10
逃げ	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
先行	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1
差し	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0
追込	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
連対時		454	510		468		468				506		
最高体重	450	～	～	486	～	516	486	～	510	456	486	～	
最低体重		452	506		466		464					500	

《永野暁太郎》暁に駆ける

東京３R⑩モデレートゲイル

２戦とも出遅れ→前残りで見せ場ないが脚は使える。要注意。

東京11R⑥サレジオ

ハイレベルな新馬Ｖ評価。ゴール後も伸び続けていて妙味大に位置を取って長く脚を使わせたい。素質は重賞級の馬なので。

⑨ダノンヒストリー〔好走可〕

◎堀師＝調教でシャープな脚を使えていないが、前進気勢が旺盛だった春と違い、馬に落ち着きが出たためと判断。太め感はないし、息もいいので態勢は整った。加速でもたつく面もこの馬の個性と捉えている。

○**⑩バントルナイーフ**〔要注意〕

○太田助手＝ゲート内の所作や雰囲気をテーマに取り組んできた。調教のピッチが上がるごとが目立ち半信半疑だったが、想像以上の走りを見せてくれた。使ったことで体が締まり、調教の動きにも迫力が出てきた。ストライドが大きな馬で東京変わりは問題ないと思うし、相手は強くなるが楽しみはある。

⑤ローベルクランツ〔圏内〕

○小林師＝先週しっかりやっているので、今週は余裕残し。藤懸騎手がいい追い切りをしてくれた。カイ食いが良く、体重が少し増えてるのは好材料。輸送して１泊するのがどう出るかだが、直線が長い東京は合うと思う。力を出し切れれば。

⑥サレジオ〔素質注〕

○山崎助手＝かなり体が増えて帰厩。徐々に絞れてきたが、プラス体重での出走になりそう。素質は感じる馬だが、初戦は幼さを見せたので、２日前に競馬場へ入りスクーリングして臨む。

⑦チュウワカーネギー〔巻返す〕

○大久保龍師＝前走は予想外の馬体増の影響もあったと思うしずっと外を回るチグハグな競馬に。もともと体の強いタイプだし、もっともやれると思う。

⑧ゾロアストロ〔再注目〕

○宮田師＝前走はスローの流れでリズムを崩したし、瞬発力では劣る面も出てしまった。器用さがある方ではないので、早めに駆けるタイプ。ゴール後も伸び続けていて妙味大。

データ室

❶馬連平均＝３０００円

▼1人気は３勝だが、4人気以下も５連対。波乱含み。

❷連対率

▼連対９頭は連対率十割。④着以下があると〔００００13〕。

❸前走

▼連対８頭は前走1～3人気で①着だった。

ヒント▼⑥サレジオ

東京スポーツ杯２歳ステークス　過去５回の成績

※右端の配当は上から単勝・馬連・馬単

20東京	3	ダノンザキッド	牡２	55	川田将	1.47.5	3	3	3	①	170
芝1800	2	タイトルホルダー	牡２	55	戸崎圭	1¼	2	2	2	⑤	1330
良10頭	10	ジュンブルースカイ	牡２	55	武　豊	¾	6	7	6	③	1580
21東京	1	イクイノックス	牡２	55	ルメール	1.46.2	9	10	8	①	260
芝1800	3	アサヒ	牡２	55	田辺裕	2½	6	6	6	④	1200
良12頭	2	テンダンス	牡２	55	和田竜	¾	3	4	4	⑥	1580
22東京	3	ガストリック	牡２	55	三浦皇	1.45.8	8	8	6	⑤	1240
芝1800	6	ダノンザタイガー	牡２	55	川田将	½	7	7	8	②	2430
良11頭	8	ハーツコンチェルト	牡２	55	松山弘	½	11	8	10	①	5680
23東京	7	シュトラウス	牡２	56	モレイラ	1.46.5	3	3	3	④	580
芝1800	1	シュバルツクーゲル	牡２	56	西村淳	1½	2	2	2	⑧	9420
良10頭	3	ファーヴェント	牡２	56	横山武	ハナ	4	4	4	②	14100
24東京	4	クロワデュノール	牡２	56	北村友	1.46.8	3	3	2	①	220
芝1800	9	サトノシャイニング	牡２	56	松山弘	¾	1	1	1	③	660
良９頭	7	レッドキングリー	牡２	56	ルメール	1½	2	2	3	②	990

東京　11Ｒ　３連単上位人気

9	10	8	51.2
9	4	8	56.7
9	4	5	57.9
9	8	10	58.8
9	5	4	70.2
9	8	6	70.7
9	6	8	71.0
9	8	4	74.3
9	8	5	77.0
9	4	10	78.6
4	9	5	79.4
9	10	4	82.8
9	5	8	83.6
9	4	6	84.5
9	10	5	90.0
9	10	6	91.6
10	9	8	93.7
9	5	10	97.7
9	6	4	97.9
8	9	10	103.3
4	9	6	103.9
4	9	8	107.9
4	5	9	110.6
4	9	10	112.3
9	6	10	113.6

西の隠し球

小松　真也

東京10Ｒ　オメガタキシード

東京二一の４走前は早めに動く競馬で③着。②着馬は先週のループ勝ちのポッドロゴ。当時より２キロ減のハンデで、最後まで集中力が持続すれば一発。

東京11Ｒ　テルヒコウ

初戦は逃げ切り勝ちとはいえラスト２Ｆは10秒８→11秒３。②着も評判馬でこの馬の性能も高い。切れ味よりは持続力型で今回も積極策から好勝負期待。

郡の厳選

郡　和之

東京11Ｒ

④ライヒスアドラー

粗削りな点を残しながら、初戦が圧巻の走り。スケール大きく◎。

東京12Ｒ

⑯フロウアンドライム

折り合いに難しさはあるが、潜在能力は互角以上。仕上がりも良好。

メインレース展望

黒津　紳一　／　中西　徹

コッツォリーノに◎。初戦も終いの脚どりは確かだった**バントルナイーフ**だが、前回見せた最後にギアが一段上がる走りは圧巻。直線長い東京も恐らくより合う舞台であるはず。直前絶好、態勢も整った。

最後１Ｆ11秒０を猛追してクビ・クビ差の新馬戦が高いポテンシャルを示す内容。圧勝だった２戦目の未勝利戦も文句なしの勝ちっぷり。自在性もあり、重賞でも好勝負。

東京 11R　TMイチ推し⑧ゾロアストロ

先週がハードトレ　心身ともに充実

11Ｒ

1000　800　600　200 ﾗｽ脚いろ

①ラストスマ 美ダ良 6F84.1　67.8　53.1　38.6　11.5④馬なり併
9美Ｂダ良助　手　69.9　53.2　39.1　12.0④直一杯
12美ＤＷ稍杉原誠 6F84.5　68.0　53.3　38.9　11.9⑦馬なり併
19美ＤＷ稍杉原誠 6F84.4　67.7　52.7　38.1　11.9⑦直強め併
（古１勝ニシノインヴィクタ馬なりの外を追走併入）
→ **意欲的に外を回ったが、反応は案外だった。上昇？【Ｃ】**

②テルヒコウ　栗坂　坂瑠　53.6　39.0　12.5　馬なり
9栗ＣＷ稍助　手 6F85.2　69.3　53.6　38.1　11.8⑦馬なり
13栗坂坂瑠 538 388 123馬なり
16栗ＣＷ良助　手　69.7　53.9　39.5　13.5⑤馬なり
20栗坂坂瑠 537 386 124馬なり先
（新馬アメリカンサクラ一杯を追走ｸﾋﾞ先着）
→ **手ごたえ良く追走先着。急上昇？でも調整は順調。【Ｂ】**

③リネンタイ 美Ｗ稍 6F85.3　69.1　54.8　39.9　12.5⑦馬なり先
20美稍内田博　73.5　57.4　42.2　13.6⑦馬なり
→ **中３週→中１週ならサッとで十分も、目立つ上昇？【Ｃ】**

④ライヒスア 美Ｗ稍 6F84.0　67.0　51.9　37.1　11.8⑦馬なり併
30美ＤＷ稍助　手 6F88.4　71.6　55.3　39.6　12.7⑧馬なり併
6美ＤＷ稍助　手 6F82.7　67.7　52.9　37.8　11.5⑥馬なり併
12美ＤＷ稍佐々木大 6F82.2　66.7　52.5　37.5　11.1⑧強めに先
21美ＤＷ稍佐々木大 6F84.2　67.8　52.3　37.2　11.7⑦馬なり併
（新馬ミエノストロング馬なりの内を追走併入）
→ **随所に若さ残す段階も柔軟性は特筆もの。好状態。【Ａ】**

⑤ローベルクランツ　栗坂　藤懸　54.1　38.3　12.1　馬なり
2栗坂助手 580 431 147馬なり　6栗坂藤懸 525 377 121馬なり
13栗ＣＷ良松山弘 6F80.1　64.9　50.7　36.4　11.2⑤馬なり併
20栗坂藤懸 541 393 125馬なり
→ **先週ＣＷが２秒７追走から楽に併入。好仕上がり。【Ｂ】**

⑥サレジオ 栗ＣＷ重 6F80.4　66.0　51.6　37.5　11.5⑤馬なり併
6美ＤＷ稍助　手 6F83.6　67.8　52.7　37.8　11.4④馬なり併
9美ＤＷ稍助　手 6F82.0　66.2　51.5　37.1　11.8⑤馬なり
12美ＤＷ稍ブーシャ 6F79.8　64.5　50.5　37.0　12.0③末一杯併
16美ＤＷ稍助　手 6F82.2　66.6　51.4　37.1　11.7⑤一杯追
18美ＤＷ稍助　手　55.5　39.1　11.5⑥馬なり
20美ＤＷ稍ブーシャ 6F82.9　67.1　52.1　37.2　11.4⑤馬なり併
（古ｵｰﾌﾞﾝナルカミ馬なりの内を追走併入）
→ **先週から中１日のスパルタ調教。動き上向いてきた。【Ｂ】**

⑦チュウワカーネギー 栗坂　北友　55.2　39.6　12.3　馬なり
23栗坂助手 572 424 138馬なり　30栗坂北友 530 378 125馬なり
6栗ＣＷ良北村友 6F81.7　66.0　51.7　36.8　11.8⑥馬なり併
13栗ＣＷ良北村友 6F80.9　66.2　51.9　37.1　11.6⑧強めに遅
20栗ＣＷ良北村友 6F83.4　67.7　52.7　37.6　11.8⑦馬なり先
（古１勝テンエースワン一杯の内を追走半騎先着）
↗ **軽快な走りで追走先着。乗り込んで馬体も締まる。【Ｂ】**

⑧ゾロアスト 美Ｗ稍　68.2　52.1　37.5　11.6④馬なり併
9美ＤＷ稍助　手　54.6　39.1　11.8⑤馬なり併
13美ＤＷ稍ﾏｰｶﾝ　64.2　49.3　35.7　11.4③末強め併
16美ＤＷ稍助　手 7F98.2　67.7　53.5　39.4　12.6②馬なり
20美ＤＷ稍ﾏｰｶﾝ 6F84.3　67.7　52.9　38.1　11.8③馬なり併
（古１勝オルグジェシダ馬なりの内を追走併入）
↗ **先週のハードトレ乗り越え心身充実。渾身の仕上げ。【Ａ】**

⑨ダノンヒス 美Ｗ稍 6F82.2　66.4　51.8　37.6　11.8⑦馬なり併
30美ＤＷ稍助　手　68.7　53.6　38.9　12.2④馬なり
6美ＤＷ稍助　手 6F81.9　65.7　51.4　36.8　11.7⑤馬なり併
13美ＤＷ稍助　手 6F81.0　65.1　50.8　36.5　11.9⑤一杯追併
16美坂助手 548 397 123馬なり
20美ＤＷ稍レーン　67.1　51.4　36.6　11.3③強めに遅
（２歳未勝利ミッキーダムール馬なりの内を追走半騎遅れ）
→ **心身のバランスは途上だが、追うごとの良化確か。【Ｂ】**

⑩バントルナ 美Ｗ稍 6F82.0　66.2　51.9　37.4　11.2④末強め併
29美ＤＷ稍助　手　71.1　55.5　40.6　13.0②馬なり
5美ＤＷ稍助　手 7F99.5　67.9　53.4　39.1　12.5③馬なり
12美ＤＷ稍杉原誠 7F98.5　67.2　52.3　37.4　11.4②馬なり併
16美坂助手 533 389 122強めに
20美ＤＷ稍助　手 6F83.3　67.3　51.8　37.1　11.2③直強め先
（古２勝アンパドゥ強めの内を追走１騎先着）
→ **入厩当初のバランスの悪さは改善。やれば動く馬。【Ｂ】**

⑪ストームサ 栗ＣＷ良 6F84.0　67.2　52.6　38.1　12.1⑨強めに
12栗ＣＷ良助　手 6F81.2　66.8　53.2　38.7　12.5⑨馬なり
20栗ＣＷ良助　手 6F80.9　66.2　52.6　38.5　12.3⑧末強め
↗ **鋭さには欠けるが前走時より動けた。幾分は良化。【Ｃ】**

⑫コッツォリ 美Ｗ稍　66.6　52.0　38.7　12.7⑦馬なり併
5美ＤＷ稍助　手 6F—　—　—　—　12.1⑦馬なり先
12美ＤＷ稍横山典 6F82.2　65.5　52.2　38.0　11.5⑦強めに
20美ＤＷ稍助　手　66.9　52.2　37.8　12.1⑨馬なり
↗ **スムーズな走りで終いも時計以上の伸び脚。上昇。【Ｂ】**

《坂路時計の見方》

21栗坂福永 554 405 132一杯追
⇧❶　⇧❷　⇧❸

❶＝日付　❷タイム（ゴールから逆算、800ｍ・600ｍ・200ｍ。スペースの都合上、小数点は省略）
❸＝脚色（先着・併入・遅れ）

馬番連複オッズ

—❶—		6	631	8	28.6
2	253	7	511	9	14.0
3	549	8	423	10	35.9
4	79.9	9	255	11	315
5	156	10	411	12	114
6	204	11	780	—❼—	
7	305	12	956	8	63.6
8	132	—❹—		9	54.9
9	92.1	5	23.3	10	101
10	137	6	29.9	11	502
11	478	7	64.7	12	361
12	308	8	20.6	—❽—	
—❷—		9	9.9	9	11.8
3	644	10	21.3	10	20.0
4	35.9	11	203	11	153
5	55.8	12	50.5	12	73.0
6	61.9	—❺—		—❾—	
7	144	6	46.1	10	8.9
8	64.8	7	106	11	83.7
9	22.7	8	27.0	12	36.2
10	42.9	9	13.3	—❿—	
11	267	10	23.4	11	169
12	154	11	164	12	76.8
—❸—		12	78.2	—⓫—	
4	417	—❻—		12	333
5	478	7	144		

東京　11Ｒ　３連複上位人気

8	9	10	18.9
4	9	10	20.9
4	5	9	21.4
4	8	9	25.5
5	9	10	25.7
4	8	10	27.6
6	8	9	28.7
6	9	10	29.0
4	6	9	31.1
5	8	9	31.2
4	6	10	34.7
4	6	8	37.5
4	5	10	38.6
2	9	10	42.5
2	4	9	44.9
5	6	9	46.2
5	8	10	48.0
4	10	12	50.2
4	8	12	51.5
4	5	8	53.4
2	5	9	56.2
1	4	8	56.5
4	6	12	57.1
6	8	10	57.9
2	8	9	58.9

立ち上がり三角

柏木集保の目

▼**東京スポーツ杯２歳Ｓ**はこの10年の勝ち馬から、17年ワグネリアン、19年コントレイル、24年クロワデュノール。３頭も日本ダービー馬を送り出し、他にも21年イクイノックスがいる▲

▼また、敗れた馬の中にも16年スワーヴリチャード、20年タイトルホルダーなど、のちの平地ＧＩ馬が４頭も含まれている。この時期に東京１８００ｍで光る内容を見せた馬は、秘める資質は間違いない▲

▼今回の勝ち負けだけでなく、このあとの将来を展望する視点も重要な登竜門のレースだ。人気上位馬は当然、早くも高い評価を得ている最初からの評判馬だが、スワーヴリチャード、タイトルホルダーは、このレースでは上位人気ではない伏兵として好走した馬だった▲

▼新馬戦ではサレジオに０秒１及ばなかったが、２戦目で快勝したローベルクランツ（父サトノダイヤモンド）は軽視できない。今回は初遠征、スタート難など死角大。陣営は慎重だが、前走、離れた最後方から差し切った内容は鋭い▲

▼祖母ブルーメンブラットは東京１８００ｍの府中牝馬Ｓを４番人気で猛然と差し切り勝ちした８勝馬。その産駒シュトラウス（父モーリス）は、23年の東スポ杯２歳Ｓを４番人気で鮮やかに差し切っている。コース、距離はベストに近い▲